

# 21賃金確定闘争勝利！第二地連総決起集会

# 第二地連新聞



**2021.10.29**  
**台東区役所**

第二地連 事務局長  
東海林 一久  
10月29日(金) 台東区役所にて21賃金確定闘争勝利！第二地連総決起集会が開催されました。  
小野瀬事務局次長の司会で始まり、原田議長から地連を代表して挨拶を受けました。原田議長か

任長任部	責連責教	行地集地	行地集地
掃合連	清組地	京働二	京働二
2021年11月24日	2021年11月24日		
第84号	第84号		

①減給補償者の重要な課  
 ②今年度の勧告内容について③各区における新規採用獲得に向けた取り組み④コロナ禍での職場からの取り組み⑤確定闘争勝利に向けた、今後の重要な闘いについて話をして下さいました。  
 退職者会からは丹野副会長が出席して下さいました。共に闘う連帯の挨拶をいただきました。丹野副会長からは、これまでの確定闘争の長い闘いの歴史を含めた話をして下さいました。  
 その後、清掃本部から駆けつけて下さいました多田書記長・泉田常任中央執行委員・渡辺常任執行委員の紹介を受け、多田書記長より今次確定闘争の争点と課題、情勢報告について報告を受けました。

⑥現行の賃金水準について⑦清掃職場の特殊性について⑧定年延長制度について⑨担当技能長の問題について⑩勧告を受けてのこの間のやりとり⑪我々が求める基本要素について話をいただきました。  
 18時10分より幹事区長要請行動が開催され、当局側から出席者の紹介を受け、その後、小野瀬事務局次長より組合側の出席者が紹介されました。  
 原田議長から台東区荒川副区長に対して「要請書」の手交がされ、緒方副議長より要請文の読み上げを行いました。当局からは要請内容を持ち帰り、区長に伝えるとともに誠意を持って課題の早



期解決に向けて、話し合っ  
 要請行動終了後、各支部からの代表者・青年部より5名の方から決意表明を頂き、組合員一人ひとりの闘う決意として受け止め全体で確認をしました。その後、武井副議長より決議(案)が読み上げられ、参加者全体で確認されました。集会の最後に原田議長の団結がんばろうで集会が終了しました。今集会の参加組合員数は32名でした。  
 最後に開催するにあたりまして、事前の準備から打ち合わせ等、台東支部の仲間の皆さんにお手伝いを頂きましてありがとうございました。

期解決に向けて、話し合っ  
 つていくとの報告を受けました。  
 要請行動終了後、各支部からの代表者・青年部より5名の方から決意表明を頂き、組合員一人ひとりの闘う決意として受け止め全体で確認をしました。その後、武井副議長より決議(案)が読み上げられ、参加者全体で確認されました。集会の最後に原田議長の団結がんばろうで集会が終了しました。今集会の参加組合員数は32名でした。  
 最後に開催するにあたりまして、事前の準備から打ち合わせ等、台東支部の仲間の皆さんにお手伝いを頂きましてありがとうございました。



# 各支部 決意表明

【荒川支部】  
関根 進さん



我々清掃職員は、行政と区民との接点にいます。そのことを自覚し、良質な公共サービスとしての清掃事業の確立に向けて奮闘を続けています。現行の特別区の清掃事業の職務内容は、排出調査や指導業務、環境学習や訪問収集等、職員の創意工夫で様々な事業展開がされています。区長会には、職員が自信と誇りを持ち、安心して職務

に邁進できる給与水準を確保する責任があります。新型コロナウイルス感染症の変異株が流行した際には、清掃職場からも感染者が多発し、濃厚接触者とあわせて欠員状態となる中、職員の努力と協力で乗り越えてきました。こうした清掃職員の2年間にわたる結果が、一時金の削減ということでは、到底納得できるものではありません。2021賃金確定闘争を組織の総力を挙げて不転の覚悟で最後まで闘い抜く決意です。

【北支部】  
阿部 伸一さん

10月20日、特別区人事委員会は、職員の給与等に関する報告及び勧告を行いました。月例給は据え置くとしたものの、一時金を0.15月引き下げといった、2年連続となるマイナス勧告でありました。その額は、職員の平均年間給与で、約5万9千円の減となり首都圏で暮らす我々の生計費に大きく影響を及ぼす、大変不当な内容となっております。私たちはこの間、区民の衛生環境を維持するため、新型コロナウイルス感染症の危険と隣り合わせの中、一日たりとも休む事の出来ない清掃事業に責任と誇りをもって日々の業務に取り組んできました。その努力が2年連続の引き下げ勧告とあっては、職員全体のモチベーションは下がる一方です。北区では2年連続の新規採用で11名の仲間が増えました。しかし若年層である彼らにとつてこのマイナス勧告は将来の夢・希望、そして思い描く生活設計をも狂わす、大変厳しい内容であ



ると、思い知らされます。若年層だけに関わらず、やりがいと誇りを持ち、安心して働き続けられる職場環境を確立していくためにも、今確定闘争で業務職給料表の水準改善をはじめ、人事院制度の改善、新規採用の継続した獲得、定年の段階的な引き上げに伴う条件整備等、解決すべき課題は明白となっております。北支部では、そうした諸課題、諸要求貫徹に向け、本部・地連に結集し、今確定闘争勝利に向け全力で取り組んでいきます。

【台東支部】  
内藤 尊 聖さん

私は、2019年4月に採用されました。低賃金の実態があります。これから結婚して生活をしていくとなると、2年連続の引き下げ勧告が実施されれば、私を含む青年層は厳しい状況になります。また、コロナ禍感染に対する不安を抱えながら職務に精励している特別区職員の努力を踏みにじる勧告であり、到底許す事はできません。清掃事業の職務・職責が高まっているにもかかわらず、賃金が抑制されるばかりでは、職員のモチベーションは低下し、良質な公共サービスを区民に提供することが困難になります。良質な公共サービスを区民に提供するのには直営の職員です。新規採用が重要になります。特別区人事委員会の不当な勧告を許さず、21賃金確定闘争の勝利に向け、職場・地連・本部の仲間と共に要求実現に向けて、支部の総力を挙げ、全力で闘っていきます。



今期の人事委員会勧告は「月例給の改定はなし、一時金はマイナス0.15月」と到底納得のできる内容ではありません。コロナ禍において、感染の恐怖と不安を抱きながらも「区民に安心、安全な住環境」を提供するため、日夜奮闘している我々に対する正しい評価とは思えません。区長会の「現業職給料表は高い水準にある」との認識を改めさせ、給与水準の改善を勝ち取らなければなりません。定年延長に関わる課題では、給与水準を60歳時の7割とするとされてい

【文京支部】  
橋本良一さん



ます。年収では現在の再任用賃金を上回るとされていますが、しかし、あくまでも月例給が基本であり、その月例給が再任用賃金を下回るのとは明らかに制度矛盾であります。我々は糾弾するともに、協議の場を求めなければなりません。

今期の課題の一つである「再任用時に任用する職務の級」について、第2回団体交渉において「再任用の職務の級の取り扱いに関わる見直しについて(案)」が出されました。これまでの退職時に任用されていた職務の級と「同等以下」を「同等を基本」とする取り扱いにするものであり、一つ課題がクリアされたこととなります。しかし、問題・課題はまだまだ山積しており、より一層闘いを強化していかなくてはなりません。

組合員一丸となって団結し、本部・地連に結集し最後まで闘い抜きます。



【青年部】

瀧澤 幸広さん

このコロナ禍において我々清掃職員は感染者を多く出してきました。それに伴い、濃厚接触者も出ることから日々極度の人員不足の中、それでもいつもと変わらない作業を行い区民の環境を守ってきました。その重要性をまるで無視しているかのような今回の勧告には断固反対し闘っていかなくてはいいけません。

青年部第二地連では多くの若い仲間が入ってきています。若年層において給与の引き下げはとて大きい負担になり、一人暮らしや結婚等将来の選択肢を狭める要因にな

りかねません。新しい仲間を守るためにも今回の闘争勝利に向け青年部は親組織と連帯し最後まで闘っていきます。

【第二地連役員紹介】

◇地連三役

議長 原田 輝高 (台東支部)

副議長 緒方 雄一 (文京支部)

武井 正雄 (北支部)

事務局長 東海林 一久 (荒川支部)

事務局次長 小野瀬 修 (北支部)

会計 植村 純 (台東支部)

◇地連常任

組織部

○部長 関上 徹 (北支部)

部員 黒河内 昭 (台東支部)

関根 進 (荒川支部)

飯田 雅俊 (文京支部)

現業部

○部長 豊田 浩史 (荒川支部)

部員 宇佐美浩一 (台東支部)

高橋 敏光 (北支部)

高橋 正智 (文京支部)

小林喜代彦 (北工場支部)

教育宣伝部

○部長 片岡 良亮 (台東支部)

部員 浦井 英昭 (荒川支部)

坂部 信弘 (北支部)

星 光秋 (文京支部)

特別常任(青年部)

瀧澤 幸広 (台東支部)

渡邊 隼弥 (文京支部)

露木 汰公 (文京支部)

野口 貴史 (北支部)

石川 健一 (北支部)

会計監査

戸張 義弘 (荒川支部)

榎本 秀和 (文京支部)



北支部・北工場支部・荒川支部・台東支部・文京支部